



東洋平

活動報告

プロフィール
1984年生まれ、長須賀区在住。上智大学大学院哲学研究科卒。2011年に千葉市から館山市に移住しライターや記者業を経て、2023年市議会議員に初当選。北条海岸ビーチマーケット事務局長。会派「市民クラブ」に所属、総務委員会、議会運営委員会委員。

ごあいさつ

新年度が始まりました。かつては狭き門だった市役所の採用も昨年度の倍率は3倍台に。さらに自己都合の退職者数は過去最多の20人に上りました。この状況は当面続くと予想され、いかに少ない人員で仕事を回すかが鍵を握ります。3月議会では自治体DXについても質問しました(裏面をご覧ください)。

当初予算も全般的に例年よりも減額された事業が目立ちました。財政健全化は急務で

すが、福祉分野の給付金の削減に賛否が割れる議案もありました。住民との対話を最優先に物事を進めてもらえるように今後も要望をしていきます。

2月に所属する会派「市民クラブ」や館山商工会議所の正副会頭、千葉県ふぐ連盟らと共にトラフグの本場・下関市に視察に伺いました。館山湾沖に生まれた日本一の巨大な産卵場を地域活性化に生かそうと養殖も含めてさまざま

な取り組みが加速しています。縮小する中でも、地域ならではの産業、雇用が創出されるよう力を合わせていきたいと思います。

3月議会最終日に議会改革特別委員会の設置が決まりました。議員定数などが適正か調査検討する委員会です。前回選挙投票率が初めて50%を下回る中、今後の議会のあり方について積極的に意見してまいります。



館山市議会



第3回総合計画審議会



下関市長を表敬訪問

賛否分かれた障害者給付金

市単独で維持してきた障害者医療費の給付制度が縮小されました。賛否が分かれた議案について解説しました。



どうなる新総合計画

新総合計画のパブコメ第一弾が終了。R8年度から10年間を期間とする最重要の計画です。引き続き注目を!



下関視察レポート

トラフグの本場、下関市に視察に伺ったレポートをぜひご一読ください。NHK山口放送局でも放送されました。

